

2016年
1月末
刊行予定

手塚治虫「火の鳥」がごとく華麗に復活!!

『ブラック・ジャック』『三つ目がとおる』が人気を博した70年代後半をまとめる。

二階堂黎人

Reito N. Kaido

僕らが愛した 手塚治虫

復活編

手塚治虫は、長くて中身が濃い、波瀾万丈のマンガ人生を送ってきた。昭和20年代後半から30年代にかけては、『ジャングル大帝』、『鉄腕アトム』、『リボンの騎士』など数多くの傑作を世に送り続け、名実ともにマンガ界の第一人者として活躍した。

また、1962年にアニメーション会社の虫プロダクションを興すと、日本初のテレビ・マンガ『鉄腕アトム』や、日本初のカラー・テレビ・マンガ『ジャングル大帝』を制作し、日本中の子供たちをブラウン管の前に釘付けにした。

しかし、劇画ブームの到来や、虫プロダクションの社内争議などのゴタゴタが生じて、手塚は深刻なスランプに陥った。青年マンガの台頭によって、少年マンガに拘った「手塚治虫はもう古い」とか、「手塚治虫の時代は終わった」などと、世間からも散々言われたのだった。

そんな中、手塚は73年11月に、秋田書店の〈週刊少年チャンピオン〉で『ブラック・ジャック』を連載し始めた。また、74年には、講談社の〈週刊少年マガジン〉で『三つ目がとおる』を描き始めた。これらが好評で、人気を呼び、氏は長い迷いからついに脱することができたのである。

A5判並製 370ページ
定価(本体2,200円+税)

株式会社南雲堂 〒162-0801 東京都新宿区山吹町361 TEL 03-3268-2384 FAX 03-3260-5425

お申し込み

申込書 書店印	冊数 申込数	新刊委託	南雲堂 著者	二階堂黎人	定価(本体2200円+税)	日 年 月	2016年1月末刊行予定
		販売条件	僕らが愛した 手塚治虫 《復活編》				